

# FTPOCX

# NEO

**WILL**

株式会社ウィル

- Microsoft、Windows、Windows NT、Visual Basic、ActiveX、Office、Access、Excel は、米国 Microsoft Corporation の米国ならびに各国における登録商標です。
- その他本書に掲載されている会社名、製品名はそれぞれ各社の商標又は登録商標です。

# 目次

|                       |    |
|-----------------------|----|
| はじめに.....             | 3  |
| 動作環境について.....         | 4  |
| インストール.....           | 5  |
| ライセンスの登録.....         | 7  |
| サポートについて(無償).....     | 10 |
| バージョンアップについて(無償)..... | 11 |
| 再配布について.....          | 12 |
| <br>                  |    |
| プログラミング概要.....        | 13 |
| 通信を開始する.....          | 15 |
| 通信を終了する.....          | 15 |
| メソッドの発行.....          | 16 |
| <br>                  |    |
| 状態遷移図.....            | 17 |
| <br>                  |    |
| プロパティ.....            | 19 |
| Account プロパティ.....    | 20 |
| Copyright プロパティ.....  | 21 |
| FileType プロパティ.....   | 22 |
| FileCode プロパティ.....   | 23 |
| Port プロパティ.....       | 24 |
| Passive プロパティ.....    | 25 |
| PreCommand プロパティ..... | 26 |
| Rest プロパティ.....       | 28 |
| SysCode プロパティ.....    | 29 |
| FtpCommand プロパティ..... | 30 |
| <br>                  |    |
| メソッド.....             | 31 |
| Abend メソッド.....       | 32 |
| Abort メソッド.....       | 33 |
| AppendFile メソッド.....  | 34 |
| Connect メソッド.....     | 35 |
| Cwd メソッド.....         | 36 |
| Cd メソッド.....          | 37 |
| Delete メソッド.....      | 38 |
| Dir メソッド.....         | 39 |

|                         |    |
|-------------------------|----|
| Disconnect メソッド .....   | 40 |
| GetFile メソッド .....      | 41 |
| Ls メソッド .....           | 42 |
| IsIdle メソッド .....       | 43 |
| Mkdir メソッド .....        | 44 |
| Noop メソッド .....         | 45 |
| PutFile メソッド .....      | 46 |
| Pwd メソッド .....          | 47 |
| QuoteCommand メソッド ..... | 48 |
| Rename メソッド .....       | 49 |
| Rmdir メソッド .....        | 50 |
| GetSize メソッド .....      | 51 |
| SiteCommand メソッド .....  | 52 |
| Login メソッド .....        | 53 |
| <br>                    |    |
| イベント .....              | 54 |
| CommandDone イベント .....  | 55 |
| Connected イベント .....    | 56 |
| DirClose イベント .....     | 57 |
| DirData イベント .....      | 58 |
| DirOpen イベント .....      | 59 |
| Disconnected イベント ..... | 60 |
| GetOpen イベント .....      | 61 |
| GetData イベント .....      | 62 |
| GetClose イベント .....     | 63 |
| PutData イベント .....      | 64 |
| PutClose イベント .....     | 66 |
| Trace イベント .....        | 67 |
| TransError イベント .....   | 68 |
| <br>                    |    |
| Winsock エラーコード .....    | 69 |

# はじめに

## 動作環境について

---

### ■対応 OS

FTPOCXNEO は、以下に示す OS で動作確認を行っております。

Microsoft Windows 2000、Microsoft Windows XP、  
Microsoft Windows 2003、Microsoft Windows VISTA

### ■開発に必要なソフトウェア

FTPOCXNEO をご使用いただくには、以下のいずれかのソフトウェアが必要です。

Microsoft Visual Basic Ver 6.0  
Microsoft Office 2003 (Access、Excel)  
Microsoft Visual Studio 2005

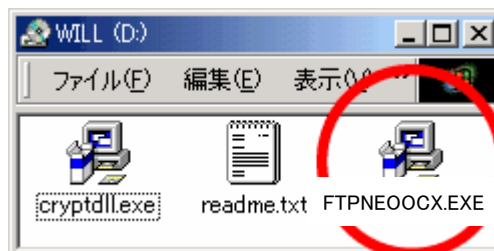
FTPOCXNEO は、Microsoft Visual Basic Ver 6.0 で作成しています。サンプルは、Microsoft Visual Basic Ver 5.0 または Ver 6.0 または VS.NET2003 または 2005 で作成しています。

※ 本製品は日本語環境のみの対応となります。

# インストール

ダブルクリックします。

製品の CD-ROM に含まれているセットアップキット (FTPNEOOCX.exe) を

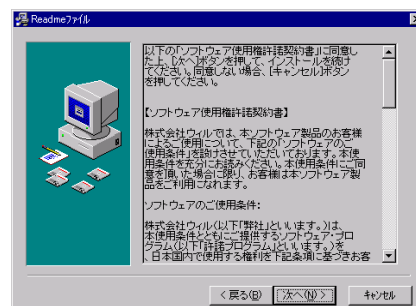


画面にしたがって、インストールを進めて下さい。

1. インストールを始めます。「次へ」をクリックして下さい。



2. 使用許諾契約書です。内容に同意される場合は「次へ」をクリックして下さい。



3. インストール先のフォルダを指定します。初期設定でよろしければ「次へ」をクリックして下さい。別のフォルダを指定したい場合は「参照」をクリックし、フォルダを指定して下さい。



## はじめに

4. インストール中に置換されるファイルのバックアップを作成できます。そのバックアップファイルの保存先フォルダを指定します。初期設定でよろしければ「次へ」をクリックして下さい。



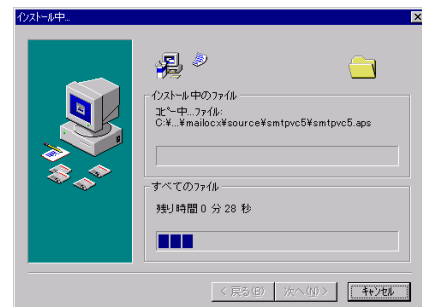
5. WILL を登録するスタートメニュー又はプログラムマネージャのグループフォルダを指定します。初期設定では、新規に「WILL」の名前でフォルダを作成します。特に指定する必要がなければ、初期設定をお勧めします。



6. プログラムのコピーを開始します。「次へ」をクリックして下さい。



7. プログラムのコピーをしています。中断する場合は、「キャンセル」をクリックして下さい。



8. インストールが完了しました。「完了」をクリックし、インストールを終了して下さい





# ライセンスの登録

## ■レジストリファイルから登録する

ライセンスを登録します。製品に含まれている CD のレジストリファイル (EFXXXXXXXXX.reg) をダブルクリックして下さい。(「XXXXXXXXXX」は、任意の数字がファイル名として付けられています。)

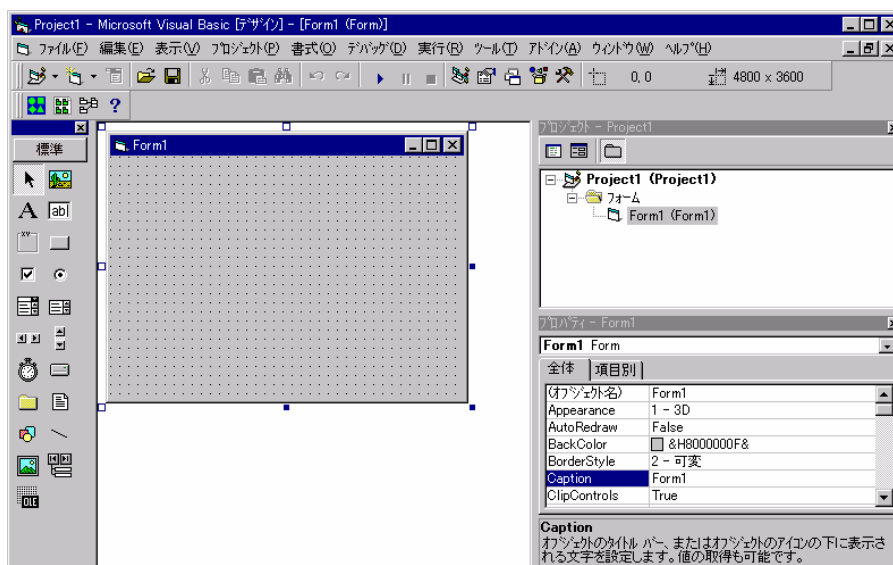


以下のメッセージボックスが表示され、ライセンスがレジストリに登録されます。



## ■手動で登録する

あらかじめ電子メールで通知しているライセンス情報を利用してライセンスを登録する等、レジストリファイルを利用しない場合は、VisualBasic 起動後に新規プロジェクトを選択し以下のデザイン画面を開きます。



## はじめに

ツールバーの「プロジェクト」から、「コンポーネント」を選択し、「コンポーネント」画面を開きます。次にコントロールタブの一覧から FTPOCXNEO を選択して「OK」をクリックすると、FTPOCXNEO がツールボックスに追加され、アイコンが表示されます。



ツールボックスに追加された FTPOCXNEO を選択し、フォームにアイコンを貼り付けると、以下の「WILL LICENSE REGISTRATION」画面が表示されます。ここで、ユーザー名、シリアル番号、キーコードをそれぞれ入力してライセンス登録を行います。



## ■トライアルライセンスから正規ライセンスへの移行

既にトライアルライセンスが登録されている場合には、デザイン画面にある FTPOCXNEO のプロパティで「バージョン情報」をクリックして下さい。



「WILL LICENSE REGISTRATION」画面が表示されますので、ここで正規ライセンスを入力して下さい。



## ■ライセンス入力時のご注意

### ※ライセンスが入力できない!?

入力したライセンスにスペースが含まれていないか確認して下さい。(ライセンスに、スペースは使用していません。)

### ※登録したライセンスを認識しない!?

ライセンスを登録しても、オブジェクトが新規ライセンスを認識していない場合は、FTPOCXNEO のアイコンを少し動かして下さい。この作業により、オブジェクトにライセンスが記憶されます。

### ※トライアルライセンスで作成したアプリケーションはどうする!?

既にトライアルライセンスで作成したアプリケーションは、正規ライセンスを登録した後、再コンパイルする必要があります。

はじめに

## サポートについて(無償)

---

サポートは基本的に電子メールで受け付けております。サポートは無償でご利用いただけます。

### ■お問い合わせの前に

サポート作業を円滑に行うために、お問い合わせの際には以下の情報をご用意下さい。

1. 製品名及びバージョン
2. 開発環境(OSの種類及びバージョン、サービスパッケージの種類)
3. 開発ツール及びバージョン
4. サーバーの種類
5. 問題点
  - (1) エラー内容又は、エラー状況のハードコピー
  - (2) 問題点となる部分のサンプルソースコード
  - (3) Trace イベントの msg の内容

### ■お問合せ先

<http://www.will-ltd.co.jp/>で御確認ください。

# バージョンアップについて(無償)

---

製品のバージョンアップは、無償です。

## ■バージョンアップ情報の入手方法

バージョンアップの情報は、弊社ホームページの新着情報で通知し、各商品のページの更新履歴で更新内容を掲示致します。

## ■最新バージョンの入手方法

最新バージョンのプログラムは、弊社ホームページ(<http://www.will-ltd.co.jp/>)のダウンロードのページよりダウンロードすることが出来ます。ダウンロードするファイルは、以下のバージョンアップの目的により異なりますのでご注意ください。

# 再配布について

---

## ■作成したアプリケーションの配布時

FTPOCXNEO を利用して作成したアプリケーションの配布時のランタイムライセンスはフリーです。但し、開発ライセンスの配布はできません。

## ■再配布時に必要な配布可能ファイル

FTPOCXNEO を利用して作成したアプリケーションを配布する場合には、以下のファイルを添付する必要があります。( )内は推奨バージョンです。

- ・ FTPNEO.OCX
- ・ TCPIP.OCX(2.17)
- ・ KANJI..OCX(2.08)
- ・ VB6JP.DLL (Ver 5.0.4319)
- ・ MSVBVM60.DLL (Ver 5.2.8244)

※ セットアップウィザードを使用する場合

FTPOCXNEO をインストールすると、自動的に OCX の依存ファイルが以下のディレクトリにインストールされます。

C:¥WINNT¥system32(Windows NT, 2000, 2003 の場合)

C:¥Windows¥system32(WindowsX VISTA の場合)

セットアップウィザードを実行すると自動的にアプリケーション配布時に必要な OCX (内部で利用している OCX)と、DLL ファイルが Setup.lst ファイルに追加されます。

## ■著作権

- ・ FTPOCXNEO およびこれに付随するマニュアルの著作権は株式会社ウィル(横浜市中区)にあります。
- ・ 本ソフトウェアおよびマニュアルを運用した結果については、当社は一切責任を負いません。
- ・ 本ソフトウェアの仕様またはマニュアルに記載されている事項は予告無く変更することがあります。
- ・ マニュアルなどに記載されている会社名、製品名は、各社の商標および登録商標です。
- ・ FTPOCXNEO を利用するアプリケーションは FTPOCXNEO の著作権表示を行わなければなりません。Copyright プロパティに FTPOCXNEO の著作権を示す文字列があります。アプリケーションまたはドキュメントのいずれかにこの文字列を表示して、FTPOCXNEO を使用していることを示してください。

# プログラミング概要

## 状態遷移図

FTPOCXNEO は、メソッドの指定に従って FTP サーバーと非同期に通信を行い、実行結果をイベントとして通知します。メソッドを発行すると、メソッドに応じたイベントが発生しますので、イベントの発生にしたがってプログラミングをしてください。自然と FTP クライアントプログラムを作成することができます。また、いくつかのプロパティが用意されていて、ファイルの転送モードや、漢字コードの変換方法を変更することができます。メソッドを発行する前に正しく設定してください。



## 通信を開始する

---

---

通信を開始するには Connect メソッドを使用します。このメソッドを用いて、FTP サーバーにログインします。ログインに失敗しても自動的に FTP セッションは切断されません。明示的に Disconnect メソッドを発行してください。

## 通信を終了する

---

---

通信を終了するには、Disconnect メソッドを使用します。このメソッドを用いると、サーバーに QUIT コマンドを発行して FTP セッションが閉じられるのを待ちます。正常に切断されたら DisConnected イベントが発生します。

強制的に通信を切断するには、Abend メソッドを使用します。この場合も、DisConnected イベントが発生します。

DisConnected イベントは、Disconnect メソッド、Abend メソッドの発行だけでなく、サーバーがタイムアウトを起こして FTP セッションを切断した場合にも発生します。

# メソッドの発行

---

メソッドは、成功、失敗の如何に関わらず、CommandDone イベントを発生します。(IsIdle メソッド、Abort メソッド、Abend メソッドを除く)。メソッドによっては、CommandDone イベントが発生する前に、メソッド特有のイベントが発生します(Ls/GetFile/PutFile メソッド)。

## ■Ls メソッドの発行

Ls メソッドを発行すると、DirOpen イベント、DirData イベント、DirClose イベントが順番に発生します。DirOpen でディレクトリリストの受け取りの準備を行い、DirData でディレクトリリストを 1 行ずつ受け取り、DirClose ですべてのディレクトリリストを受け取ったことを確認することができます。

## ■GetFile メソッドの発行

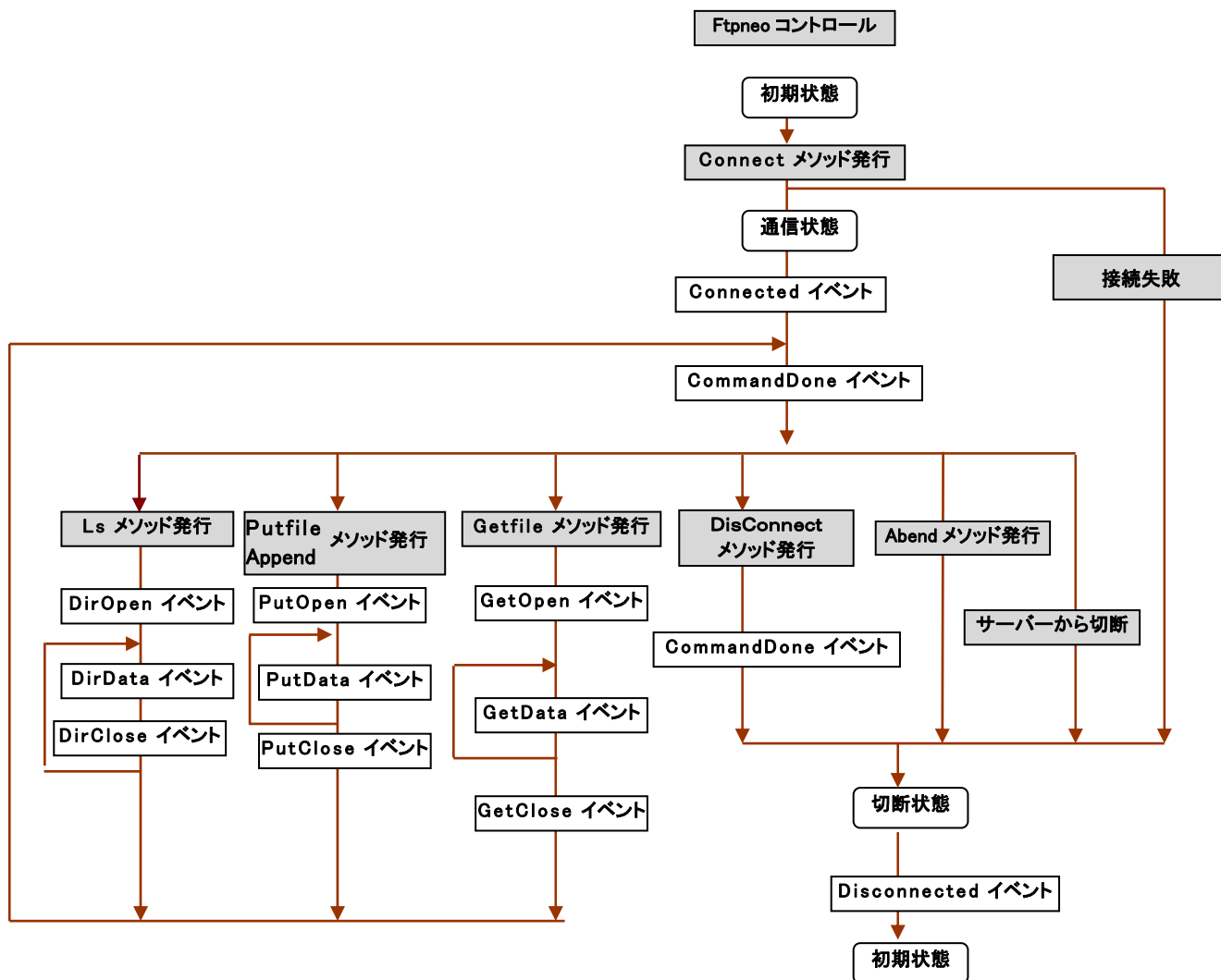
GetFile メソッドを発行すると、GetOpen イベント、GetData イベント、GetClose イベントが順番に発生します。GetOpen イベントで、ローカルファイルのオープンを行い、GetData イベントでローカルファイルにデータを追加し、GetClose でローカルファイルをクローズします。なお、GetFile メソッドで指定したリモートファイルが存在しない場合は、GetOpen/GetData/GetClose イベントは発生しません。

## ■PutFile メソッドの発行

PutFile メソッドを発行すると、PutData イベント、PutClose イベントが順番に発生します。PutOpen イベントはありませんので、PutFile メソッドを発行する前に、必要なら送信するファイルをオープンしておきます。PutData イベントでData パラメーターに送信するデータを格納します。Data パラメータになにも格納しないと、送信データの終了とみなされ、データコネクションが閉じられて、PutClose イベントが発生します

# 状態遷移図

# 状態遷移図



# プロパティ

# Account プロパティ

---

## ■機能

アカウントを要求するシステムに接続するときのアカウント名の設定です。Connect メソッドを使う前に設定してください。

## ■構文

Object.Account[=Value]

Account プロパティの構文の指定項目は次のとおりです。

| (指定項目) | (内容)                |
|--------|---------------------|
| Object | FTPOCXNEO オブジェクトです。 |
| Value  | アカウントの指定をする文字列式です。  |

## ■データ型

文字列(String)

# Copyright プロパティ

---

## ■機 能

FTPOCXNEO のコピーライト文字列。プログラム、ヘルプファイル、マニュアルなどのいずれかにこのプロパティの文字列を表示してください。この値は参照のみ可能です。

## ■構 文

Object. Copyright

Copyright プロパティの構文の指定項目は次のとおりです。

| (指定項目) | (内 容)               |
|--------|---------------------|
| Object | FTPOCXNEO オブジェクトです。 |

## ■データ型

文字列(String)

# FileType プロパティ

---

## ■機 能

ファイル転送モードを指定します。アスキーモード転送であれば、“A”を、バイナリモード転送であれば、“I”をセットしてください。

アスキーモードは、転送中のデータがテキストであることをサーバーに通知します。アスキーモードを指定すると改行コードを正しく変換して転送を行います。また、このモードの場合、FileCode プロパティの指定に従って文字コードの変換が行われます。

バイナリモードではコードの変換を一切行いません。

このプロパティを読み出すと現在設定されているモードを知ることができます。

ファイル転送モードはファイル転送指示メソッドの呼び出しにより、サーバーに自動的に通知されます。この通知を抑止するには、FileType に””を代入して下さい。

## ■構 文

Object. FileType[=Value]

FileType プロパティの構文の指定項目は次のとおりです。

| (指定項目) | (内 容)                    |
|--------|--------------------------|
| Object | FTPOCXNEO オブジェクトです。      |
| Value  | 転送するファイルのモードを指定する文字列式です。 |

## ■データ型

文字列(String)



# FileCode プロパティ

---

## ■機 能

サーバー上でのファイルの漢字コードを指定します。“JIS”、“SJIS”、“EUC”、“BIN”を指定できます。“BIN”であれば、送受信に際して漢字コードの変換を行いません。“JIS”、“SJIS”、“EUC”であれば、送信する際には送信データを指定された文字コードに変換して送信します。受信する際は、サーバーのファイルの文字コードを指定された文字コードとして変換します。“BIN”以外では、GetData に渡されるデータは SJIS になっています。

## ■構 文

Object.FileCode[=Value]

FileCode プロパティの構文の指定項目は次のとおりです。

| (指定項目) | (内 容)                        |
|--------|------------------------------|
| Object | FTPOCXNEO オブジェクトです。          |
| Value  | サーバー上でのファイルの漢字コードを指定する文字列式です |

## ■設定値

Value の設定値は次のとおりです。

| (値)  | (説 明)                    |
|------|--------------------------|
| JIS  | 送受信する際にデータを JIS に変換します。  |
| SJIS | 送受信する際にデータを SJIS に変換します。 |
| EUC  | 送受信する際にデータを EUC に変換します。  |
| BIN  | 送受信する際に漢字コードの変換を行いません。   |

## ■データ型

文字列(String)

# Port プロパティ

---

## ■機 能

接続する FTP サーバーのポート番号です。デフォルトは 21 です。

## ■構 文

Object. Port[=Value]

Port プロパティの構文の指定項目は次のとおりです。

| (指定項目) | (内 容)   |
|--------|---|
| Object | FTPOCXNEO オブジェクトです。                           |
| Value  | 接続する FTP サーバーのポート番号を指定する整数式または文字列式(サービス名称)です。 |

## ■データ型

文字列(String)

# Passive プロパティ

---

## ■機 能

PASSIVE モードでデータ転送を行ないます。

## ■構 文

Object. Passive [=Boolean]

Passive プロパティの構文の指定項目は次のとおりです。

| (指定項目)  | (内 容)                      |
|---------|----------------------------|
| Object  | FTPOCXNEO オブジェクトです。        |
| Boolean | PASSIVE モードを利用するかどうかを決めます。 |

## ■設定値

Value の設定値は次のとおりです。

| (値)   | (説 明)                    |
|-------|--------------------------|
| True  | PASSIVE モードを利用します。       |
| False | PASSIVE モードを利用しません。(初期値) |

## ■データ型

ブール型(Boolean)

# PreCommand プロパティ

## ■機能

ログイン処理の前に発行するコマンドを記述します。  
(ファイヤーウォール対応に利用します。)

## ■構文

Object. PreCommand [=Text]

PreCommand プロパティの構文の指定項目は次のとおりです。

| (指定項目) | (内容)                   |
|--------|------------------------|
| Object | FTPOCXNEO オブジェクトです。    |
| Text   | vbCrLf で区切られた FTP コマンド |

## ■設定値

Text の設定値は次のとおりです。

| (パターン)   | (コーディング方法)  |
|--|---|
| ファイヤーウォールなし  | Ftp1.PreCommand = ""<br>Ftp1.Connect FtpServer,User,Pass  |
| ファイヤーウォールサーバーに接続し、OPEN コマンドを発行して FTP サーバーに接続する。その後、通常 LOGIN する。ファイヤーウォールのユーザー名、パスワードは用いない。     | Ftp1.PreCommand =<br>"OPEN " & FtpServer<br>Ftp1.Connect FireWall,User,Pass   |
| ファイヤーウォールサーバーに接続し、ファイヤーウォールのユーザー名、パスワードを用いてログインする。そして SITE コマンドを発行して FTP サーバーに接続し、通常 LOGIN する。 | Ftp1.PreCommand =<br>"USER " & FireWallUser & vbCrLf _<br>"PASS " & FireWallPass & vbCrLf _<br>"SITE " & FtpServer<br>Ftp1.Connect FireWall,User,Pass |
| ファイヤーウォールサーバーに接続し、通常 LOGIN する。ユーザー名は、'FTP ユーザー名 @FTP サーバー名' の形式。ファイヤーウォールのユーザー名、パスワードは用いない。    | Ftp1.PreCommand = ""<br>Ftp1.Connect FireWall, _<br>User & "@" & FtpServer, _Pass   |

|  |  |
|--|--|
| <p>ファイヤーウォールサーバーに接続し、ファイヤーウォールのユーザー名、パスワードを用いてログインしたのち、通常 LOGIN する。ユーザー名は、'FTP ユーザー名@FTP サーバー名'の形式。ファイヤーウォールのユーザー名、パスワードは用いない。</p> | <pre>Ftp1.PreCommand = _ "USER " &amp; FireWallUser &amp; vbCrLf _ "PASS " &amp; FireWallPass Ftp1.Connect FireWall, _ User &amp; "@" &amp; FtpServer, _Pass</pre> |
|--|--|

## ■ 変 数

| (変数名)        | (意 味)               |
|--------------|---------------------|
| FtpServer    | 目的とする FTP サーバーのホスト名 |
| User         | FTP サーバーのユーザー名      |
| Pass         | FTP サーバーのパスワード      |
| FireWall     | ファイヤーウォールのホスト名      |
| FireWallUser | ファイヤーウォールでのユーザー名    |
| FireWallPass | ファイヤーウォールでのパスワード    |

## ■ データ型

文字列(String)

# Rest プロパティ

---

## ■機 能

このプロパティが””以外にセットされていると、GetFile メソッドを行う際に、RETR する直前に REST を発行します。初期値は、””で、GetFile が完了すると””に戻ります。

## ■構 文

Object.Rest[=Value]

Rest プロパティの構文の指定項目は次のとおりです。

| (指定項目) | (内 容)  |
|--------|--|
| Object | FTPOCXNEO オブジェクトです。                                      |
| Value  | “”以外にセットされていると、GetFile メソッドを行う際に、RETR する直前に REST を発行します。 |

## ■解 説

REST コマンドは、パラメータで指定した位置までリモートファイルのポインタを進めます。この機能を使うためには REST コマンドが FTP サーバーでサポートされていることが必要です。

## ■データ型

文字列(String)

# SysCode プロパティ

---

## ■機 能

サーバー上でのファイル名およびエラーメッセージで使用される漢字コードの取り扱いを指定します。通常は自動判別を行うが、SJISとEUCで自動判別できない場合があるので、自動判別できないときのヒントを指定します。“EUC”または“SJIS”を指定する。JIS やアルファベットのみの場合は自動判別ができるので、そのような場合は、このプロパティは参照されません。

## ■構 文

Object.SysCode[=Value]

SysCode プロパティの構文の指定項目は次のとおりです。

| (指定項目) | (内 容)                 |
|--------|-----------------------|
| Object | FTPOCXNEO オブジェクトです。   |
| Value  | 自動判別できないときのヒントを指定します。 |

## ■設定値

Value の設定値は次のとおりです。

| (値)  | (説 明)                                     |
|------|---|
| EUC  | ファイル名およびエラーメッセージで使用される漢字コードを EUC に指定します。  |
| SJIS | ファイル名およびエラーメッセージで使用される漢字コードを SJIS に指定します。 |

## ■データ型

文字列(String)

# FtpCommand プロパティ

---

## ■機能

現在実行されているメソッドが格納されます。参照のみ可能です。

## ■構文

Object.State

State プロパティの値は次のとおりです。

| (定数)         | (説明)                       |
|--------------|----------------------------|
| Abort        | 現在実行中のメソッドは Abort です。      |
| AppendFile   | 現在実行中のメソッドは AppendFile です。 |
| Connect      | 現在実行中のメソッドは Connect です。    |
| Cwd          | 現在実行中のメソッドは Cwd です。        |
| Cd           | 現在実行中のメソッドは Cd です。         |
| Delete       | 現在実行中のメソッドは Delete です。     |
| Dir          | 現在実行中のメソッドは Dir です。        |
| DisConnect   | 現在実行中のメソッドは DisConnect です。 |
| GetFile      | 現在実行中のメソッドは GetFile です。    |
| Ls           | 現在実行中のメソッドは Ls です。         |
| MkDir        | 現在実行中のメソッドは MkDir です。      |
| Noop         | 現在実行中のメソッドは Noop です。       |
| PutFile      | 現在実行中のメソッドは PutFile です。    |
| Pwd          | 現在実行中のメソッドは Pwd です。        |
| QuoteCommand | 現在実行中のメソッドは Quote です。      |
| Rename       | 現在実行中のメソッドは Rename です。     |
| RmDir        | 現在実行中のメソッドは RmDir です。      |
| FileSize     | 現在実行中のメソッドは FileSize です。   |
| SiteCommand  | 現在実行中のメソッドは Site です。       |
| Login        | 現在実行中のメソッドは Login です。      |

## ■データ型

文字列(String)



# メソッド

# Abend メソッド

---

## ■機 能

通信を強制的に切断します。通信中であれば、Disconnected イベントが発生します。通信中でなければ何も起こりません。

## ■構 文

Object.Abend()

Abend メソッドの構文の指定項目は次のとおりです。

| (指定項目) | (内 容)               |
|--------|---------------------|
| Object | FTPOCXNEO オブジェクトです。 |

## ■戻り値

なし。

# Abort メソッド

---

## ■機 能

Ls/Dir/GetFile/PutFile によるデータ転送を中断します。これはいつでも発行できます。中断されたメソッドは処理が中断され、CommandDone イベントが発生します。転送中でない場合は、何もしません。

## ■構 文

Object.Abort()

Abort メソッドの構文の指定項目は次のとおりです。

| (指定項目) | (内 容)               |
|--------|---------------------|
| Object | FTPOCXNEO オブジェクトです。 |

## ■戻り値

なし。

# AppendFile メソッド

---

## ■機 能

APPE コマンドを用いてリモートファイルに格納します。FileType プロパティ、FileCode プロパティに応じてコード変換が行われます。IsIdle メソッドを使って、コマンド発行可能状態であるかどうか調べてから呼び出してください。コマンド発行可能状態で無い場合に呼び出すとエラー（エラー番号“17”）になります。このメソッドが成功すると、PutData/PutClose イベントが発生します。転送が終わると CommandDone イベントが発生します。

## ■構 文

Object.AppendFile(File As String)

AppendFile メソッドの構文の指定項目は次のとおりです。

| (指定項目) | (内 容)               |
|--------|---------------------|
| Object | FTPOCXNEO オブジェクトです。 |
| File   | ファイル名を指定する文字列式です。   |

## ■戻り値

なし。

# Connect メソッド

---

## ■機 能

RemoteHost で指定される FTP サーバーに接続します。すでに接続済みである場合は、エラーになります。上手く接続できたら、UserName、Password を用いてログインを試みます。ログインに失敗しても、コネクションは切断しません。明示的に Disconnect メソッドを呼び出してください。処理がおわると、CommandDone イベントが発生します。

## ■構 文

Object.Connect (RemoteHost As String, Username As String, Password As String)  
Connect メソッドの構文の指定項目は次のとおりです。

| (指定項目)  | (内 容)                |
|---|----------------------|
| Object  | FTPOCXNEO オブジェクトです。  |
| RemoteHost  | FTP サーバーを指定する文字列式です。 |
| UserName  | ユーザー名を指定する文字列式です。    |
| Password  | パスワードを指定する文字列式です。    |
| 注意: ログイン時に、Account 情報が必要な場合は Account プロパティで設定をしてください。 |                      |

## ■戻り値

なし。

## Cwd メソッド

---

### ■機 能

CWD コマンドだけを発行するメソッドです。Cd メソッドは、FTP の CWD コマンドを発行したあと、PWD コマンドを発行していました。システムの設定によっては、PWD コマンドに失敗することもあり、そのため、CWD コマンドは成功したが、PWD コマンドに失敗し結果として、Cd メソッドに失敗するということがありました。このような状況に対応するには、このメソッドを使ってください。

ただし、IsIdle メソッドを使って、コマンド発行可能状態であるかどうか調べてから呼び出してください。コマンド発行可能状態で無い場合に呼び出すと、エラー(エラー番号 "17")になります。処理がおわると、CommandDone イベントが発生します。

### ■構 文

Object.Cwd(Directory As String)

Cwd メソッドの構文の指定項目は次のとおりです。

| (指定項目)    | (内 容)                 |
|-----------|-----------------------|
| Object    | FTPOCXNEO オブジェクトです。   |
| Directory | ディレクトリのパスを指定する文字列式です。 |

### ■戻り値

なし。

# Cd メソッド

---

## ■機 能

CWD コマンドを発行して、カレントディレクトリを変更します。Directory に空文字列"" を与えると失敗します。空文字列の場合は、"." が与えられたものとして扱われます。CWD に成功したら、PWD コマンドが続いて発行されます。IsIdle メソッドを使って、コマンド発行可能状態であるかどうか調べてから呼び出してください。コマンド発行可能状態で無い場合に呼び出すと、エラー（エラー番号"17"）になります。処理がおわると、CommandDone イベントが発生します。CommandDone イベントの Msg パラメータにカレントディレクトリのパスが格納されています。パスは、" で囲まれています。

## ■構 文

Object.Cd(Directory As String)

Cd メソッドの構文の指定項目は次のとおりです。

| (指定項目)    | (内 容)                 |
|-----------|-----------------------|
| Object    | FTPOCXNEO オブジェクトです。   |
| Directory | ディレクトリのパスを指定する文字列式です。 |

## ■戻り値

なし。

# Delete メソッド

---

## ■機 能

DELE コマンドを発行して、リモートファイルを削除します。Delete メソッドはファイルにのみ適用できます。ディレクトリを削除するには RmDir メソッドを使ってください。IsIdle メソッドを使って、コマンド発行可能状態であるかどうか調べてから呼び出してください。コマンド発行可能状態で無い場合に呼び出すと、エラー(エラー番号"17")になります。処理がおわると、CommandDone イベントが発生します。

## ■構 文

Object.Delete (File As String)

Delete メソッドの構文の指定項目は次のとおりです。

| (指定項目) | (内 容)                |
|--------|----------------------|
| Object | FTPOCXNEO オブジェクトです。  |
| File   | 削除するファイルを指定する文字列式です。 |

## ■戻り値

なし。



# Dir メソッド

---

## ■機 能

LIST コマンドを発行して、ディレクトリリストをとります。File はディレクトリまたはファイル名を指定します。省略すると、カレントディレクトリを指定したことになります。IsIdle メソッドを使って、コマンド発行可能状態であるかどうか調べてから呼び出してください。コマンド発行可能状態で無い場合に呼び出すと、エラー（エラー番号“17”）になります。このメソッドが成功すると、DirOpen/DirData/DirClose イベントが発生します。処理がおわると、CommandDone イベントが発生します。

## ■構 文

Object.Dir([File As String])

Dir メソッドの構文の指定項目は次のとおりです。

| (指定項目) | (内 容)                              |
|--------|------------------------------------|
| Object | FTPOCXNEO オブジェクトです。                |
| Files  | リストをとりたいディレクトリまたはファイル名を指定する文字列式です。 |

## ■戻り値

なし。

# DisConnect メソッド

---

## ■機 能

QUIT コマンドを発行して FTP セッションを切断します。IsIdle メソッドを使って、コマンド発行可能状態であるかどうか調べてから呼び出してください。コマンド発行可能状態で無い場合に呼び出すと、エラー（エラー番号“17”）になります。処理がおわると、CommandDone イベントが発生します。また、FTP セッションが切断されると、DisConnected イベントが続いて発生します。

## ■構 文

Object. Disconnect()

Disconnect メソッドの構文の指定項目は次の通りです。

| (指定項目) | (内 容)               |
|--------|---------------------|
| Object | FTPOCXNEO オブジェクトです。 |

## ■戻り値

なし。

# GetFile メソッド

---

## ■機 能

RETR コマンドを用いてリモートファイルを取り出します。FileType プロパティ、FileCode プロパティに応じてコード変換が行われます。IsIdle メソッドを使って、コマンド発行可能状態であるかどうか調べてから呼び出してください。コマンド発行可能状態で無い場合に呼び出すと、エラー(エラー番号"17")になります。このメソッドが成功すると、GetOpen/GetData/GetClose イベントが発生します。処理がおわると、CommandDone イベントが発生します。LocalFile は GetOpen イベントの SaveFileName パラメータとして使われるだけで、これを指定しても、このファイルに自動的にセーブされるわけではありません。

## ■構 文

Object.GetFile(File As String, [LocalFile As String])

GetFile メソッドの構文の指定項目は次のとおりです

| (指定項目)    | (内 容)  |
|-----------|--|
| Object    | FTPOCXNEO オブジェクトです。                            |
| File      | 取り出したいリモートファイルを指定する文字列式です。                     |
| LocalFile | GetOpen イベントの SaveFileName パラメータとして使われる文字列式です。 |

## ■戻り値

なし。

# Ls メソッド

---

## ■機 能

NLST コマンドを発行して、ディレクトリリストをとります。File はディレクトリまたはファイル名を指定します。省略すると、カレントディレクトリを指定したことになります。IsIdle メソッドを使って、コマンド発行可能状態であるかどうか調べてから呼び出してください。コマンド発行可能状態で無い場合に呼び出すと、エラー(エラー番号"17")になります。このメソッドが成功すると、DirOpen/DirData/DirClose イベントが発生します。処理がおわると、CommandDone イベントが発生します。

## ■構 文

Object.Ls([File As String])

Ls メソッドの構文の指定項目は次のとおりです。

| (指定項目) | (内 容)                              |
|--------|------------------------------------|
| Object | FTPOCXNEO オブジェクトです。                |
| File   | リストをとりたいディレクトリまたはファイル名を指定する文字列式です。 |

## ■戻り値

なし。

# IsIdle メソッド

---

## ■機 能

メソッドが実行中かどうか調べます。True であれば、メソッドは実行中ではありません。False であれば、接続していないか、メソッドが実行中ですので、新たにメソッドを実行することはできません。CommandDone イベントを待ってからメソッドを発行してください。

## ■構 文

Value=Object.IsIdle()

IsIdle メソッドの構文の指定項目は次のとおりです。

| (指定項目) | (内 容)                  |
|--------|------------------------|
| Object | FTPOCXNEO オブジェクトです。    |
| Value  | メソッドが実行中かどうかを示すブール式です。 |

## ■戻り値

戻り値(Boolean)が示す値は次のとおりです。

| (値)   | (説 明)  |
|-------|--|
| True  | メソッドは実行中ではありません。                                 |
| False | 接続していないか、メソッドが実行中です。<br>いずれにせよメソッドを実行することはできません。 |

## MkDir メソッド

---

### ■機 能

MKD コマンドを発行して、ディレクトリを作成します。IsIdle メソッドを使って、コマンド発行可能状態であるかどうか調べてから呼び出してください。コマンド発行可能状態で無い場合に呼び出すと、エラー(エラー番号"17")になります。処理がおわると、CommandDone イベントが発生します。

### ■構 文

Object.MkDir(Directory As String)

MkDir メソッドの構文の指定項目は次のとおりです。

| (指定項目)    | (内 容)                  |
|-----------|------------------------|
| Object    | FTPOCXNEO オブジェクトです。    |
| Directory | 作成するディレクトリを指定する文字列式です。 |

### ■戻り値

なし。

# Noop メソッド

---

## ■機 能

NOOP コマンドを発行します。FTP コネクションがタイムアウトで切れないようにする為に用います。IsIdle メソッドを使って、コマンド発行可能状態であるかどうか調べてから呼び出してください。コマンド発行可能状態で無い場合に呼び出すと、エラー(エラー番号"17")になります。処理がおわると、CommandDone イベントが発生します。

## ■構 文

Object.Noop()

Noop メソッドの構文の指定項目は次のとおりです。

| (指定項目) | (内 容)               |
|--------|---------------------|
| Object | FTPOCXNEO オブジェクトです。 |

## ■戻り値

なし。

# PutFile メソッド

---

## ■機 能

STORコマンドを用いてリモートファイルに格納します。FileType プロパティ、FileCode プロパティに応じてコード変換が行われます。IsIdle メソッドを使って、コマンド発行可能状態であるかどうか調べてから呼び出してください。コマンド発行可能状態で無い場合に呼び出すと、エラー（エラー番号“17”）になります。このメソッドが成功すると、PutOpen/PutData/PutClose イベントが発生します。処理がおわると、CommandDone イベントが発生します。LocalFile は PutOpen イベントの LoadFileName パラメータとして使われるだけで、これを指定しても、このファイルに自動的にセーブされるわけではありません。

## ■構 文

Object. PutFile(RemoteFile As String,LocalFile AS String)

PutFile メソッドの構文の指定項目は次のとおりです。

| (指定項目) | (内 容)                     |
|--------|---------------------------|
| Object | FTPOCXNEO オブジェクトです。       |
| File   | 格納するリモートファイル名を指定する文字列式です。 |

## ■戻り値

なし。



# Pwd メソッド

---

## ■機 能

カレントディレクトリを絶対パスで返します。IsIdle メソッドを使って、コマンド発行可能状態であるかどうか調べてから呼び出してください。コマンド発行可能状態で無い場合に呼び出すと、エラー(エラー番号"17")になります。処理がおわると、CommandDone イベントが発生します。

## ■構 文

Object.Pwd()

Pwd メソッドの構文の指定項目は次のとおりです。

| (指定項目) | (内 容)               |
|--------|---------------------|
| Object | FTPOCXNEO オブジェクトです。 |

## ■戻り値

なし。

## QuoteCommand メソッド

---

### ■機 能

FTPOCXNEO がサポートしていない FTP プロトコルコマンドを FTP サーバーに送出することができます。IsIdle メソッドを使って、コマンド発行可能状態であるかどうか調べてから呼び出してください。コマンド発行可能状態で無い場合に呼び出すと、エラー(エラー番号“17”)になります。正しく送出されると、CommandDone イベントが発生します。

### ■構 文

Object.QuoteCommand(ExtraCommand As String)  
Quote メソッドの構文の指定項目は次のとおりです。

| (指定項目)                | (内 容)  |
|-----------------------|--|
| Object                | FTPOCXNEO オブジェクトです。                            |
| ExtraCommand          | FTPOCXNEO がサポートしていない FTP プロトコルコマンドを指定する文字列式です。 |
| 注意: データ転送を行うことはできません。 |  |

### ■戻り値

なし。

# Rename メソッド

---

## ■機 能

RNFR/RNTO コマンドを発行して、ファイル名を変更します。FileTo が存在すると名前の変更はできません。IsIdle メソッドを使って、コマンド発行可能状態であるかどうか調べてから呼び出してください。コマンド発行可能状態で無い場合に呼び出すと、エラー（エラー番号“17”）になります。処理がおわると、CommandDone イベントが発生します。

## ■構 文

Object.Rename(FileFrom As String, FileTo As String)

Rename メソッドの構文の指定項目は次のとおりです。

| (指定項目)   | (内 容)                  |
|----------|------------------------|
| Object   | FTPOCXNEO オブジェクトです。    |
| FileFrom | 変更したいファイル名を指定する文字列式です。 |
| FileTo   | 変更するファイル名を指定する文字列式です。  |

## ■戻り値

なし。

# Rmdir メソッド

---

## ■機能

RMD コマンドを発行して、ディレクトリを削除します。削除できるのは、ディレクトリが空である場合だけです。IsIdle メソッドを使って、コマンド発行可能状態であるかどうか調べてから呼び出してください。コマンド発行可能状態で無い場合に呼び出すと、エラー(エラー番号"17")になります。処理がおわると、CommandDone イベントが発生します。

## ■構文

Object.Rmdir(Directory As String)

Rmdir メソッドの構文の指定項目は次のとおりです。

| (指定項目)    | (内容)                    |
|-----------|-------------------------|
| Object    | FTPOCXNEO オブジェクトです。     |
| Directory | 削除するディレクトリ名を指定する文字列式です。 |

## ■戻り値

なし。

# FileSize メソッド

---

## ■機 能

SIZE コマンドを発行して、File のファイルサイズを調べます。ファイルのサイズは、FileType に依存しますので、このメソッドを発行する前に、FileType プロパティを設定しておいてください。IsIdle メソッドを使って、コマンド発行可能状態であるかどうか調べてから呼び出してください。コマンド発行可能状態で無い場合に呼び出すと、エラー（エラー番号"17"）になります。処理がおわると、CommandDone イベントが発生します。Msg パラメータにファイルサイズが格納されています。

## ■構 文

Object. FileSize(File As String)

Size メソッドの構文の指定項目は次のとおりです。

| (指定項目) | (内 容)                    |
|--------|--------------------------|
| Object | FTPOCXNEO オブジェクトです。      |
| File   | サイズを調べるファイル名を指定する文字列式です。 |

## ■戻り値

なし。

## SiteCommand メソッド

---

### ■機 能

SITE コマンドを発行して、FTP サーバーに固有のコマンドを実行するよう指定します。UNIX では、chmod がサポートされることがあります。IsIdle メソッドを使って、コマンド発行可能状態であるかどうか調べてから呼び出してください。コマンド発行可能状態で無い場合に呼び出すと、エラー（エラー番号“17”）になります。処理がおわると、CommandDone イベントが発生します。

### ■構 文

Object.SiteCommand(LocalCommand As String)  
Site メソッドの構文の指定項目は次のとおりです。

| (指定項目)       | (内 容)                  |
|--------------|------------------------|
| Object       | FTPOCXNEO オブジェクトです。    |
| LocalCommand | サイト固有のコマンドを指定する文字列式です。 |

### ■戻り値

なし。

# Login メソッド

---

## ■機 能

Connect メソッドでサーバーに接続したが、ログインに失敗した場合に、接続を切らずに再度ログインするためのメソッドです。IsIdle メソッドを使って、コマンド発行可能状態であるかどうか調べてから呼び出してください。コマンド発行可能状態で無い場合に呼び出すと、エラー(エラー番号"17")になります。処理がおわると、CommandDone イベントが発生します。

## ■構 文

Object.Login(Username As String, Password As String)

Login メソッドの構文の指定項目は次のとおりです。

| (指定項目)   | (内 容)               |
|----------|---------------------|
| Object   | FTPOCXNEO オブジェクトです。 |
| Username | ユーザ名を指定する文字列式です。    |
| Password | パスワードを指定する文字列式です。   |

## ■戻り値

なし。

# イベント



# CommandDone イベント

---

## ■機 能

メソッドにより指定された一連の FTP コマンドを送信し終わったときに発生します。Code が 0 であれば、正常に処理されています。Code が 0 以外であれば、コマンドがエラーになっています。Code は、FTP コマンドのエラーコードで 400 番台および 500 番台の値を取ります。

(注: 1.03 では、Code に 0 以外の数値があるとすべてエラーとして、処理を中断していました。1.05 からは、実行したメソッドによっては、エラーがあっても後の処理を継続するようにしました。この修正により、LIST コマンドの実装されていない、メインフレーム系の FTP サーバーや、カレントディレクトリの読み取りを禁止しているシステムでも WILLFTP を利用することができるようになりました。)

## ■構 文

```
Private Sub Object_CommandDone(Code As Integer, FtpCommand As String, Msg As String)
```

CommandDone イベントの構文の指定項目は次のとおりです。

| (指定項目)     | (内 容)                        |
|------------|------------------------------|
| Object     | FTPOCXNEO オブジェクトです。          |
| Code       | 実行したメソッドが成功したか失敗したかを示す整数式です。 |
| FtpCommand | 実行したメソッドが格納される文字列式です。        |
| Msg        | 発行したメソッドのステータスの文字列式が格納されます。  |

# Connected イベント

---

## ■機 能

FTP サーバーと接続した時に発生します。

## ■構 文

Private Sub Object\_Connected()

Connected イベントの構文の指定項目は次のとおりです。

| (指定項目) | (内 容)               |
|--------|---------------------|
| Object | FTPOCXNEO オブジェクトです。 |

# DirClose イベント

---

## ■機 能

すべてのディレクトリリスト受信したときに発生します。

## ■構 文

Private Sub Object\_DirClose()

DirClose イベントの構文の指定項目は次のとおりです。

| (指定項目) | (内 容)               |
|--------|---------------------|
| Object | FTPOCXNEO オブジェクトです。 |

# DirData イベント

---

## ■機 能

ディレクトリリストを 1 行受け取ったときに発生します。data には改行コードは含まれません。

## ■構 文

Private Sub Object\_DirData(Data As String)

DirData イベントの構文の指定項目は次のとおりです。

| (指定項目) | (内 容)  |
|--------|--|
| Object | FTPOCXNEO オブジェクトです。                                    |
| Data   | ファイル名やバイト数、日時等の情報が格納されています。(情報の内容は FTP サーバーによって異なります。) |

# DirOpen イベント

---

## ■機 能

Dir/ls メソッドが成功して、ディレクトリリストの送信準備が出来た時に発生します。

## ■構 文

Private Sub Object\_DirOpen()

DirOpen イベントの構文の指定項目は次のとおりです。

| (指定項目) | (内 容)               |
|--------|---------------------|
| Object | FTPOCXNEO オブジェクトです。 |

# DisConnected イベント

---

## ■機 能

FTP セッションが切断されたときに発生します。Code が 0 であれば正常終了です。Code が 0 以外であれば、Winsock でエラーが発生しました。Code と Msg を表示してください。デバッグに役立ちます。Code は Winsock のエラーコードです。

abend メソッドを発行した場合の Code は -1 となります。

## ■構 文

Private Sub Object\_DisConnected(Code As Long, Msg As String)

DisConnected イベントの構文の指定項目は次のとおりです。

| (指定項目) | (内 容)                               |
|--------|-------------------------------------|
| Object | FTPOCXNEO オブジェクトです。                 |
| Code   | セッションが正常終了したか、異常終了したかを示す整数式が格納されます。 |
| Msg    | 発行したメソッドのステータスの文字列式が格納されます。         |

# GetOpen イベント

---

## ■機 能

GetFile メソッドが成功し、転送が始まったときに発生します。SaveFileName は、GetFile メソッドで指定された LocalFile です。

受信するファイルを Open するのは、GetFile メソッドの直前か、このイベント内で行うとよいでしょう。

## ■構 文

Private Sub Object\_GetOpen(SaveFileName As String)

GetOpen イベントの構文の指定項目は次のとおりです。

| (指定項目)       | (内 容)   |
|--------------|---|
| Object       | FTPOCXNEO オブジェクトです。                           |
| SaveFileName | GetFile メソッドで指定された LocalFile 名を指す文字列式が格納されます。 |

# GetData イベント

---

## ■機 能

データを受信したときに発生します。FileCode に“BIN”以外を指定している場合、data に含まれるのは、SJIS コードの文字列です。VB のコントロールに格納するには Strconv(data,VbUnicode)を用いて Unicode に変換してください。

## ■構 文

```
Private Sub Object_GetData(Data() As Byte)  
GetData イベントの構文の指定項目は次のとおりです。
```

| (指定項目) | (内 容)                |
|--------|----------------------|
| Object | FTPOCXNEO オブジェクトです。  |
| data   | 受信したデータの文字列式が格納されます。 |



# GetClose イベント

---

## ■機 能

データ転送が終了した時に発生します。通常、ここでファイルを閉じます。

## ■構 文

Private Sub Object\_GetClose()

GetClose イベントの構文の指定項目は次のとおりです。

| (指定項目) | (内 容)               |
|--------|---------------------|
| Object | FTPOCXNEO オブジェクトです。 |

# PutOpen イベント

---

## ■機 能

PutFile メソッドが成功し、転送が始まったときに発生します。LoadFileName は、PutFile メソッドで指定された LocalFile です。

送信するファイルを Open するのは、PutFile メソッドを呼ぶ前か、このイベントの中で行ってください。

転送を中断するには、Abort メソッドを呼び出してください。

## ■構 文

Private Sub Object\_PutOpen(LoadFileName As String)

PutOpen イベントの構文の指定項目は次のとおりです。

| (指定項目)       | (内 容)   |
|--------------|---|
| Object       | FTPOCXNEO オブジェクトです。                           |
| LoadFileName | PutFile メソッドで指定された LocalFile 名を指す文字列式が格納されます。 |

# PutData イベント

---

## ■機 能

PutFile メソッドが成功し、相手が受信状態になっているのでデータをこのイベントで送信します。FileCode に“BIN”以外を指定してコード変換を行う場合は、SJIS コード、JIS コード、EUC コードのいずれかを渡してください。Unicode の場合は、data=StrConv(your-data,VbFromUnicode)を行ってください。“BIN”を指定した場合は、文字列の中味がそのまま送信されます。(Unicode の場合は Unicode のまま送信されます)送信するデータが無くなったら、data に何もセットしないでください。data に何もセットしないとデータの終わりと判断され、送信セッションが切断されます。

## ■構 文

```
Private Sub Object_PutData(Data() As Byte)
```

PutData イベントの構文の指定項目は次のとおりです。

| (指定項目) | (内 容)                  |
|--------|------------------------|
| Object | FTPOCXNEO オブジェクトです。    |
| data   | 送信するデータの文字列式を設定する変数です。 |

# PutClose イベント

---

## ■機 能

送信が完了した時に発生します。通常ファイルの Close を行います。

## ■構 文

Private Sub Object\_PutClose()

PutClose イベントの構文の指定項目は次のとおりです。

| (指定項目) | (内 容)               |
|--------|---------------------|
| Object | FTPOCXNEO オブジェクトです。 |

# Trace イベント

---

## ■機 能

FTP サーバーとのやり取りがあったときに発生します。これを記録しておけば、何処でエラーになったかわかり、デバッグに役立ちます。Msg は Unicode なので、そのまま VB のコントロールなどに格納できます。

## ■構 文

Private Sub Object\_Trace(Msg As String)

Trace イベントの構文の指定項目は次のとおりです。

| (指定項目) | (内 容)                           |
|--------|---------------------------------|
| Object | FTPOCXNEO オブジェクトです。             |
| Msg    | 発行したコマンドと受信したステータスの文字列式が格納されます。 |

# TransError イベント

---

## ■機 能

転送中にエラーが発生した場合に、このイベントで通知します。

## ■構 文

Private Sub Object\_TransError (ByVal Ecode As Long, ByVal Description As String, ByVal Where As String)

TransError イベントの構文の指定項目は次のとおりです。

| (指定項目)      | (内 容)               |
|-------------|---------------------|
| Object      | FTPOCXNEO オブジェクトです。 |
| Ecode       | エラーコード              |
| Description | 説明                  |
| Where       | エラーの発生した場所          |

# Winsock エラーコード

|       |                              |
|-------|------------------------------|
| 10004 | システムコールの割り込みが発生              |
| 10009 | 無効なソケット番号を指定した               |
| 10013 | アクセスが拒否された                   |
| 10014 | 間違ったアドレスを指定した                |
| 10022 | 無効な引数                        |
| 10024 | 開いているファイル数が多すぎる              |
| 10035 | ブロッキングモードなら操作がブロックした         |
| 10036 | ブロッキング処理中に別の API を呼び出した      |
| 10037 | 非ブロッキング処理中に同じ API を呼び出した     |
| 10038 | ソケット以外に対してソケット操作が行われた        |
| 10039 | 宛先のアドレスが必要                   |
| 10040 | メッセージが長すぎる                   |
| 10041 | ソケットに対するプロトコルの種類が不正          |
| 10042 | プロトコルが使用できない                 |
| 10043 | プロトコルがサポートされていない             |
| 10044 | ソケットの種類がサポートされていない           |
| 10045 | 操作がソケットでサポートされていない           |
| 10046 | プロトコルファミリがサポートされていない         |
| 10047 | アドレスファミリがサポートされていない          |
| 10048 | アドレスがすでに使用中                  |
| 10049 | 要求されたアドレスを割り当てられない           |
| 10050 | ネットワークが落ちている                 |
| 10051 | ネットワークが到達できない                |
| 10052 | リセットによりネットワーク接続が落とされた        |
| 10053 | ホスト内部で接続を中断した                |
| 10054 | 相手が接続を強制的に切った                |
| 10055 | 利用可能なバッファスペースが存在しない          |
| 10056 | ソケットがすでに接続されている              |
| 10057 | ソケットが接続されていない                |
| 10058 | ソケットの遮断後であるため送信できない          |
| 10059 | 参照数が過大: 結合不可能                |
| 10060 | 時間切れで connect または send に失敗した |
| 10061 | 接続が拒否された                     |
| 10062 | シンボリックリンクが多すぎる               |
| 10063 | ファイル名が長すぎる                   |
| 10064 | ホストが落ちている                    |
| 10065 | ホストへの到達経路が存在しない              |
| 10091 | ネットワークサブシステムが使用不能            |
| 10092 | Winsock がサポートしていないバージョンを指示した |
| 10093 | Winsock が初期化されていない           |
| 10101 | 接続が切れている                     |
| 11001 | ホストが見つからない                   |
| 11002 | やり直し可能なエラー                   |
| 11003 | 回復不可能なエラー                    |
| 11004 | データがない                       |



FTPOCXNEO マニュアル

---

2008年1月31日 初版第1版

発行 株式会社ウィル

<http://www.will-ltd.co.jp/>

---

本紙の内容を許可なく複写、転載、データファイル化することを禁じます。  
本紙の内容に関するご質問は、上記のホームページからお問い合わせください。

---

(C)Copyright 2008 WILL Corporation. All rights reserved